

総合交通メールマガジン 第25号

平成22年7月30日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



地域の取組紹介

- ・富山県富山市（富山市におけるコミュニティサイクルの導入について～民間資本を活用した次世代レンタサイクル～）



海外情報紹介

- ・インドのモータリゼーション化と道路整備



Information

- ・「成田スカイアクセス」が開業しました
- ・～地域活性化プロジェクトを成功に導くために～
「プロジェクト・パッケージのすすめ 事例・ポイント集」の発刊
- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

地域の取組紹介

富山県富山市（富山市におけるコミュニティサイクルの導入について～民間資本を活用した次世代レンタサイクル～）

富山市では、公共交通の活性化や都市機能を集約した集約型都市構造への転換など、自動車がなくとも安心して生活ができる「コンパクトなまちづくり」を推進してきました。また、「環境モデル都市」にも指定され、他の都市のモデルとなり得る先駆的な取り組みを意欲的に行っています。



専用自転車

そこで、環境にやさしい新たな公共交通として、また既存の公共交通の2次交通として、さらには回遊性が強化されることによる中心市街地活性化のための手段として、次世代レンタサイクルであるコミュニティサイクル（愛称：アヴィレ）を導入し、本年3月にサービスを開始しています。



このような取り組みについて、民間資本を活用し、**ステーション**先駆的に取り組まれている富山市コミュニティサイクル「アヴィレ」について、富山市から紹介頂きます。

【富山市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1007toyama.pdf>

富山市の公共交通政策：http://www7.city.toyama.toyama.jp/window/09_life/01/01.html

海外情報の紹介

インドのモータリゼーション化と道路整備

在インド日本国大使館からインドにおけるモータリゼーションの状況と、それらに対応する道路整備の取り組みについて紹介頂きました。右肩上がりのインドの勢いを感じていただければ幸いです。

【記事全文についてはこちら↓】

(在インド日本国大使館)



オートエキスポの様子

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1007india.pdf>

Information

「成田スカイアクセス」が開業しました！

(国土交通省 鉄道局)

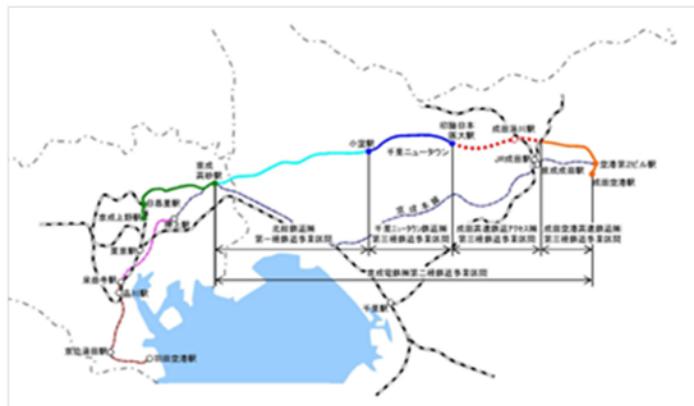
去る7月17日、我が国最大の国際空港である成田国際空港と都心との間を最高時速160kmで走行する列車により結ぶ空港アクセス鉄道として、成田スカイアクセスが開業しました。成田スカイアクセスは、京成成田空港線（京成高砂駅～成田空港駅）の愛称であり、これまで成田新高速鉄道として整備されてきたものです。

成田スカイアクセスが整備されたことによって、都心から成田空港までの所要時間が51分から36分と、15分短縮され、利便性が飛躍的に向上するばかりでなく、成田市や千葉ニュータウン等沿線地域の方々の利便性の向上が図られることになりました。これにより、世界と日本を行き来する人々の流れがより一層活性化し、我が国の国際競争力の強化や日本経済のさらなる発展に寄与することが期待されます。



成田スカイアクセスは、平成14年の着工から約8年近い歳月をかけて、空港アクセス鉄道として総事業費約1,200億円をかけ、上下分離方式により官民一体となって整備を進めてきた先駆的な事例です。整備にあたり、現行の京成本線及び北総線を活用し、北総線の印旛日本医大駅と成田空港駅間の19.1kmの新線整備を行うとともに、北総線内の改良工事や空港内駅部の改良を行いました。新線整備区間のうち土屋～成田空港間のインフラについては成田新幹線のインフラを活用するため線路等のみの整備となりました。空港内駅部のインフラ改良は、成田国際空港株式会社が実施しました。また、成田スカイアクセスを走る新型スカイライナーは、世界的なデザイナーである山本寛斎氏がデザインを担当され、凛とした風格と疾風の如きスピード感を体現した、在来線特急の中では最速の時速160kmで走行する個性あふれる車両となっていると聞いています。

今後、成田スカイアクセス、そして新型スカイライナーが、利用者や沿線の皆様に愛され、世界へつながる路線として発展していくことを願っています。



～地域活性化プロジェクトを成功に導くために～「プロジェクト・パッケージのすすめ 事例・ポイント集」の発刊

(国土交通省 国土計画局 総合計画課)

国土計画局では、プロジェクトをパッケージ化し、地域課題を解決している国内外事例について事例ごとの成功要因、効果、課題などを整理するとともに、成功のポイントについてとりまとめたものを国土計画局のHPで公開しています。

地方整備局や地方自治体等のプロジェクトプランナーが地域における課題を解決するため様々な施策を立案する際の参考となる情報となれば幸いです。

【「プロジェクト・パッケージのすすめ 事例・ポイント集」のホームページ】

http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/kokudokeikaku_tk3_000012.html

総合交通メールマガジンの受付窓口の変更についてお知らせ下さい。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて46件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



盛り上がったサッカーワールドカップの興奮は冷めつつありますが、気温の方は、全国的に暑い日が続いております。先日、娘を連れてTDLへ行ってきましたが、倒れそうになるくらいの暑さでした。ただ、暑さに関係なくはしゃぐ子供たち、力強く子供たちを引っ張る親、また、絶えず笑顔の従業員、さらには、着ぐるみの中で激しくダンスをする方々を見ると、まだまだ日本は元気だと錯覚してしまうほどのバイタリティーを感じてしまいました。

今回の「総合交通メールマガジン」より、新たに「海外情報の紹介」のトピックをもうけてみました。日本とは政治的・経済的・歴史的な背景が異なる事情があるとは思いますが、皆様方の業務実施にあたっての一種の刺激や発想の一助になれば幸いです。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 小林寛

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

